

第5学年 家庭科・ESD

めざそう 買い物名人 —主体的に生きる消費者をはぐくむ—

奈良市立飛鳥小学校 圓山 裕史

1. 目標

- ・金銭の計画的な使い方と適切な買い物に関する基礎的、基本的な方法や消費行動が社会や地球環境に関わることを理解する。【知識・技能】
- ・消費行動が単なる品物と金銭の交換ではなく、社会や環境に関わるという意識を持って多面的に考え、適切に表現する。【思考・判断・表現】
- ・よりよい消費者として自分にできる具体的な方策を意欲的に考える【主体的に学習に取り組む態度】

2. 単元について

○教材について

本単元は学習指導要領の C 消費生活・環境「課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」にあたる。

(1)物や金銭の使い方と買い物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

消費者の役割としては、必要性を考えること、「買い物は社会的投票権」と言われるように社会を動かしていること、自分や家族の消費生活が環境などに与える影響についても考えることが必要である。

これまでの消費者教育は「消費者の権利を守ること」を中心に品質・価格・安全性などの視点を重視してきたが、これに加え「消費者が責任を果たす」ことが求められる。消費行動及びその優先順位においても様々な価値基準がある中、特に先進国に住む私たちには「持続可能性」の視点を重視することが求められる。

○児童について

○指導について

まずは生活していく中でどんなところでお金がかかるかを考え、物だけでなく様々なサービスを購入して生活していることや、自分たちは直接目にすることがないところでも物の生産、使用、修理、処理にいたるまでお金がかかることに気付かせる。そして、その生活を支えるお金が多くの場合、家族が働いて得た収入であり、大切に使うことができるようにする。

そのお金を大切に使うために物を買う時の必要性を考えること、そして商品についている表示やマークなどを手掛かりに値段、品質、安全性、機能、環境への気配りなどの情報を活用することを学習し、身に付けられるようにする。

その後、普段の買い物の仕方を振り返る視点として牛乳の買い方について考えさせる。賞味期限の長い牛乳を奥から取る映像を視聴させ、当り前に行っている自分や家族の消費行動を確認する。そのうえで食品ロスの問題に出会わせる。食品ロスは年間800万トンとも言われ、食べ残しなど消費者から見えるものが半分、消費者から見えないメーカー側が半分である。そういった食品ロスの問題から「賞味（消費）期限が長い商品を選ぶことはいい買い物なのか」という消費行動及びその優先順位において新たな価値基準や「持続可能性」に気付かせたい。またエコバックを持参したり、包装の少ないものを選んだりすることも、普段の買い物の仕方として環境のことを意識付けしたい。

単元の最後には「買い物名人として生活しよう」として、マヨネーズなどの多くの種類が商品化されている1つの食品を例に挙げて、長所と短所など選び方のポイントから、自分の家であればどの商品を選ぶかという活動から、お金を使うという事が物の価値について自分の考えを表現することにつながることを体感させたい。

また、各授業の終わりには振り返りを書かせ、消費行動について社会や環境に関わるという意識を持って考えたり、よりよい消費者として具体的に考えたりすることが出来ているかを確認しながら指導していきたい。

3. ESD の観点

ESD の要素	ESD の視点に立った学習指導で重視する能力・態度	学習内容
Ⅲ有限性	①批判	身近な消費者問題
Ⅰ多様性 Ⅱ相互性 Ⅴ連携性	③多面 ⑥関連	消費が持つ影響力の理解 自分の生活と身近な環境との関わり
Ⅵ責任性	②未来 ④伝達 ⑥協力 ⑦参加	持続可能な消費の実践 消費者の参画・協働

4. 評価について

今までの自分の消費行動に焦点を当てて、毎時間の振り返りをする事で新たな知識の獲得や思考の深まりを感じさせる。そして、自分の意見を出す場面ではそういったものを活かしているか評価していきたい。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①商品の情報収集をし、選択の際にそれらを活用している。 ②環境のことを意識した買い物の方法を理解している。	①場面や立場によってどの商品を選ぶかを判断し、その理由を話し合っている。	①自ら進んで意見を発表している。 ②持続可能性を意識して、自分が今できることを考えている。

5. 展開の概要

	主な学習活動	指導上の留意点
第一次	<p>お金の使い方をみつめよう</p> <p>○教科書のイラストを参考にどんなことにお金がかかっているか考える。</p> <p>○生活を支えるお金はどうやって手に入れるか。</p> <p>○自分や家族がお金を大切にするためにどんな工夫をしているだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物だけでなくサービスの購入、現金ではない支払方法など、具体的な場面を想起させる。 ・家族が働いて収入を得ていること、お金を大切に使う事を押さえる。 ・どんな工夫を知っているか出させる。
第二次	<p>必要性を考える</p> <p>○1つほしいものを決めて教科書のフローチャートをやってみる。</p> <p>○買う時に必要な情報は何かがあるか考える。</p> <p>○自分の持ち物にもそんな情報が示されているものがあるか調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結果を友達と話し合い、必要性について話し合う。必要性によっては「買わない」「借りる」という選択肢もあることを押さえる。 ・児童から意見が出なかったものも教科書から品質表示、マーク、環境への気配りなど様々な情報が示されていることを知らせる。 ・消費期限や賞味期限についても指導する。
第三次	<p>普段の買い物を振り返る</p> <p>○買い物の時にどんな工夫をしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコバックを持っていく ・賞味期限をみる など <p>○牛乳を奥からとる映像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限の長いものを選んでるんだね。 ・お母さんもやっているよ <p>○いい買い物であるのかを考える。</p> <p>○どんな買い物をするのがいいか意見を出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や健康への気配りや価格に関してのことなど、意見が出にくければ助言する。 ・前時の学習から賞味期限という情報を有効に活用しているということを確認しておく。 ・その後、「賞味期限の長いものを選ぶのは良い買い物か」問いかける。その後、食品ロスについて話をし、あまった牛乳はどうなるのかも考える。 ・「誰にとってなのか。」「よりよい買い物の仕方」について意見を出せるように指導する。

第四次	<p>買い物名人として生活しよう</p> <p>○4種類のマヨネーズから自分の家であればどのマヨネーズを選ぶか考える。</p> <p>○自分の意見を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・まずは写真だけを出し、児童から求められた情報を出していくようにする。・それぞれの長所、短所を考える。・選ばなかったものも、どんな場面・どんな家族にはおすすめかも考える。・アレルギーについても触れておく。
-----	---	---